

平成20年度 科学研究費補助金（特別推進研究）
研究進捗評価現地調査評価コメント

研究課題名	マルチモーダル感覚情報の時空間統合	研究代表者名 (所属・職)	鈴木 陽一 (東北大学・教授)
-------	-------------------	------------------	--------------------

評価コメント
<p>本研究課題は、人間の複数の感覚器官から得られる情報を統合することによって初めて得られる高度なマルチモーダル情報提供システムの開発を目指しており、これまでの研究も計画通りに順調に進んでいるといえる。</p> <p>本研究課題の特徴は、従来の研究が基本的には分析的であるのに対して、合成的手法を基本とすると共に、真に学際的な研究者集団を率いて、直接マルチモーダル情報の統合へ立ち向かっているところにあるが、実際その方針は大変効果的と思われる。研究グループのこれまでに得られた優れた研究成果に基づいて、どちらかといえば科学的立場から真理を究めるといった姿勢を中心としている。得られた新規な知見に基づいて工学的なアプローチを導入してマルチモーダル時空間情報提示装置の構築に向けて研究を展開する際に、これまでと比べてより一層の工学的手法、観点を重視することが望まれる。特に、迫真性を評価基準にする際に、現実通りであることとの工学的な差異の詳細な検討と意義付けが必要であろう。</p> <p>しかしながら、工学的な成果だけを追求することは研究を浅薄にする可能性もあることを考慮すれば、独創的な科学的成果を積み上げることによって初めて得られる工学的成果を目指す本研究は志が高く、特別推進研究にふさわしい意欲的な課題であることは間違いない。</p> <p>最終的成果として得られるマルチモーダル情報提供システム的设计指針及びプロトタイプシステムに直接寄与する科学的研究成果と、その周辺を支える新規な知見とを明確に区別しつつ、科学と工学とのバランスのとれた優れた研究成果を挙げられることを期待したい。</p>